

第53回空襲・戦災を記録する会 秋田大会

— 日本本土に対する「最後の空襲」の実相 —

会期：令和5年8/25[金]～27[日]

オプションイベント同時開催
8/27[日]～28[月]

空襲・戦災を記録する会は、第53回全国大会を秋田市にて開催いたします。

本大会は、故・早乙女勝元氏らと各地の市民の手によって、空襲・戦災を記録し、実相を体験者の証言や米軍資料に求め、市民に語り伝える取り組みが全国に広がったことを受けて、1970年に交流の場として第1回・東京大会を開催したことに始まりました。

23年目の第53回大会では、久しぶりに東北地方・秋田で開催します。

秋田市北西部の土崎地区は、1945年8月14日夜半から15日の未明にかけて空襲を受け、大きな損害を被りました。

この空襲は、戦争末期に行われた「石油作戦」のひとつとして旧日本石油秋田製油所を標的としたもので、アメリカ軍は日本の降伏時に全国で行った一連の「フィナーレ（幕切れ）爆撃」として位置づけています。これは、8月15日未明の悲劇として語り継がれてきた、熊谷、伊勢崎、大阪陸軍造兵廠などを目標とした空襲のひとつでした。

今大会ではこうした戦争最末期の空襲に焦点をあてつつ、全国各地からの調査・研究の成果を持ち寄って議論を深めたいと考えています。

コロナ禍で培ったオンラインでのつながりも大切に、今大会もハイフレックス方式で開催いたします。お好みの方法でご参加ください。

プログラム		8/25 金	8/26 土	8/27 日	8/28 月
会場： 秋田大学 手形キャンパス ※オンライン方式有り(Zoom使用)	午前	参加費 2,000円 3日間共通 学生・大学院生 無料 ※④⑦は別途 参加費	9時～11時半 ② 空襲資料研究会(後半) ※本研究会の発表についての 問い合わせについては 開催概要をご覧ください	9時～12時半 ⑤ 各地の活動・自由報告 (応募方式) ※登録フォームにて申し込み 発表は原則対面のみ	9時～16時(予定) ⑦ 男鹿半島バスツアー ※要申し込み 参加費：7,500円 最低催行人数：20人 申込及び問合せ先： 小野哲(土崎港被爆市民会議) hibaku.tsu@gmail.com
	午後		13時～16時半 ③ 空襲戦災を記録する会 第53回 秋田大会	14時～17時半 ⑥ 1.「米軍の石油作戦と土崎空襲」 講師 工藤洋三さん 2. 土崎空襲史跡のバス見学会 参加費：無料 ※要申し込み	⑥⑦はオプションイベント
夜間		18時～21時 ① 空襲資料研究会 (旧「米軍資料の調査・ 活用に関する研究会」/前半)	18時半～ ④ 懇親会 参加費：4,000円(予定) 会場 秋田県青少年交流センター・ ユースパル内「レストラン AOPAL」	※オプションイベントのみ土崎港被爆市民会議 主催です 申し込みお問い合わせは上記 hibaku.tsu@gmail.com 迄	

お問い合わせ方法：お問い合わせフォームからお問い合わせください
※時間・内容に変更される可能性があります 最新情報は空襲・戦災を記録する会HP迄

参加方法・参加費のお支払い方法など詳細は開催概要をご覧ください



お問い合わせ



開催概要



申し込み